



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第24回例会(1月18日)
平成31年1月25日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 坂本広行
川徳デパート内 幹 事 藤村吉隆
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 吉田幸一
例 会 日 毎週金曜日12時30分～ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン
盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、繋いでいこう奉仕と友情-坂本広行



会員卓話

「己亥(つちのとい)」にまつわる話

坂本 広行 君

平成31年の暦での十干十二支は「己亥」です。「つちのとい」と読みます。

「己亥(つちのとい)」について

「己亥」の、「己(つちのと)」は、読んで字のごとく、「土」の性質があります。また、その字は糸の先端が曲がりくねっている様子を表す象形文字といわれ、「紀」(すじの意味)を省略した字とされています。また、乱れた糸筋を通し、新たな創造に向かって出発するとの意味も含まれています。その他にも、横棒が3本きれいに並んでいますので、整然という意味もあるようで、草木が繁茂し整然となった状態を指します。

また、「亥」(とごすの意味)は水と関係があり、字には、植物が実となって新しい力を内蔵する核を形成し、凝縮したエネルギーを保持している様子とも言われていますので、「己亥」は「飛躍前の力の蓄積」を意味します。

また十二支では、「イノシシ」の意味があり、「イノシシ」を表す語については、古くから、「猪(い)」「猪鹿(しし)」「偉能古(いのこ)」「久佐井奈岐(くさいなき)」など多く見られますが、漢字表記については「ブタ」との区分がはっきりとはしていません。

古典にみられる「猪」について

「古事記」においては、大国主神の説話の中に「猪」が描かれていて、鳥取県にその縁起をもつ赤猪岩神社が建立されています。また、「日本書紀」

には、天皇が淡路の国で猪狩りをしたと記述があり、古代より猪は狩猟の対象であったことがわかります。

猪は古くから狩猟の対象であり、好まれて食肉用とされていました。味は良好であり、栄養豊富、特にその睾丸はホルモン剤としての効能あるといわれとても重宝されていたともいわれ、貝塚からは猪の骨が掘り出されることも多くあります。また、武器としても利用されて、毛は防寒具や鎧の下着として、牙は象牙の代用品として装身具として、猪の油は太刀を磨く薬品として用いられていました。数年前放送されたNHK大河ドラマの真田幸村の中にも描かれています。

とても親しまれていた猪ではありましたが、天武天皇4年(677)頃より食肉禁止以降は次第に食べられなくなり、飼育(ここでは山林を管理しながら家畜として餌付けなどをし、保護をしながら増産をする意味)されることも少なくなったといわれ、利用されなくなりました。

しかし、中世以降、牛馬が農耕に貢献したのに対し、猪や鹿は農作物を荒らす害敵とみなされるようになりました。また、室町時代には豚の輸入がおこなわれるようになり、南蛮料理が食べられるようになったことから、肉食の禁止は次第に緩んでいき、猪肉は再び食されるようになりました。

前述のような真田家をはじめ、室町時代後期より戦国時代に活躍したいわゆる国衆たちは、その

多くは山林を領地として田畑を耕し叡智をもって拡大に努め戦国大名となっていきました。山からの恵みである動物の肉を食し体力をつけ、骨や毛皮など残ったものを武具としてまた防寒として余すところなく利用していたことがわかります。

祭を通しての猪の信仰について

「古語拾遺」には、御歳神の怒りを鎮めるため、白猪・白馬・白鶏を献納して祭りを行ったと記されています。また、「山城国風土記逸文」賀茂社(神社)の祭には、神の崇りを和らげるために、人が猪の頭を被って駆けたことが記されています。

「獅子踊り」・「鹿踊り」・「猪(しし)踊り」・「獅鹿踊り」など、様々な漢字で書かれますが、「鹿」ではなく「猪(ししで変換できます)」であったら、東北地方に伝わる「ししおどり」の解釈も違ったアプローチができるような気がします。

また、「日本後紀」巻の八には、和氣清麻呂と猪に関する話が伝えられています。道鏡と政権を争い失脚した和氣清麻呂は、300頭の猪に先導されて宇佐神宮を参拝し、足のけがも治り、政権に返り咲いたという縁起から、和氣清麻呂を祭る護王神社には狛犬ではなく、猪が建てられていて、今でも靈獣として尊ばれています。

民間においては、西日本を中心として、旧暦10月の亥の日に「亥の子」、または「玄猪(げんちょ)」、「亥の子節供」とよばれる行事があります。地域によって異なりますが、その年の収穫を祝う祭りといわれています。

また、子供たちが棒状の藁束で門口や庭を叩き家々を訪れる「亥の子搗き」が行われるところもあります。

また、猪が多くの子を産むことに因んで、餅に大豆や栗などを混ぜ込んだ「亥の子餅」を食べて、無病息災や子孫繁栄を祈る地域もあります。

東北地方では行事としてはあまり行われませんが、「盛岡藩雑書」には儀式として行われていた記述があります。その日に、「亥の子餅」を飾りとあり、無病息災と子孫繁栄を願っていたと思われま

す。また、お茶席には季節のお菓子として「亥の子餅」がだされるようです。

平成31年は、今上陛下御即位30年の奉祝とご譲位、また5月1日より新帝陛下が即位される、これも奉祝される年です。

昨年は、災害の多いとしでありました。平成30年の漢字は「災」でありました。

今年は「土」と「水」の性質を持つ「己亥」の力によって、災害の元が抑えられることを期待したいと思います。

また、いつ物事が動くかわからないけれど、準備として、常に整えておく意識や行動が必要とも考えます。

今年は、御代替の年でもありますので、「己」と「亥」の字の如く、エネルギーに満ち溢れた新たな時代が訪れることを願っています。

過去の「亥(猪)年」を振り返ると

平成19年(2007)

記録的な暖冬の年。競馬存続が決まった年。選挙の年、達増拓也氏が新知事、参議院選で平野氏、衆議院選で階氏、前知事の増田氏が安倍内閣で総務大臣。ライブドアの堀江、村上ファンド事件など。安倍首相病気で退陣。

平成7年(1995)、今年数え25歳の年男

知事選で、全国最年少43歳で増田氏当選。桑高氏が市長当選。盛岡文士劇が復活。東和町で北上山系初の温泉確認。1月17日阪神淡路大震災発災。3月20日営団地下鉄でサリン事件。野茂氏がドジャース入団、新人王。都知事に青島氏。府知事に横山氏当選。オームの麻原逮捕。

昭和58年(1983) 36歳

釜石ラグビー5連覇。花巻空港がジェット空港として開港。盛岡子ども科学館開館。アキノ大統領暗殺など国際状況悪化の年。

昭和46年(1971) 48歳

第50回全国高校ラグビーで盛岡工業高校優勝。全国高校選抜バレーボール大会女子で高田高校優勝。7月30日、雫石上空で全日空機衝突、162人死亡。金田一京助死去。和歌山国体で、バレーボールで高田高校、ボクシングで岩手、ラグビーで全岩手優勝。昭和の年号超記録。総人口約一億466万5171人。ドルショック・ニク

ソンショック。天皇陛下訪欧の途中ニクソン大統領と会見。

昭和34年（1959）還暦

知事は阿部千一氏。盛岡から東京、青森即時通話開通。仙人有料道路開通。盛岡駅開通。4月10日、皇太子、正田美智子様御結婚。18回オリンピック東京開催決定の年。

昭和22年（1947）72歳

國分謙吉知事公選。キャサリン台風、アイオン台風被害甚大。米内光正・松本俊介死去。天皇陛下御来県。日本国憲法発布。極東軍事裁判判決、東條、板垣等7人絞首刑。

昭和10年（1935）84歳

連続低温や雨のため不作。満州帝国帝政を実施。室戸台風。日本ペンクラブ創立。

大正12年（1923）96歳

花巻温泉開業。岩手銀行新築落成。文芸春秋創刊。9月1日関東大震災発災。甘粕大尉、大杉栄・伊藤野枝らを殺害。

イノシシの諺として

猪突猛進

がむしゃら、走るスピードは45キロとも。猪は

時速60キロで走れるといわれていますし、まっすぐだけではなく、身軽にUターンできます。

猪を見て矢を引く

事が起こってから対策をこうじる。

山より大きな猪は出ぬ

入れ物より大きなものはない、大げさな言い方もほどほどに。

馴染みでは猪の子もかわいい

馴れれば何でも愛おしい。

しし食った報い

悪事を働いた後には受けねばならない報いがある。

御猪口

日本酒を飲む時に用いる器。中国では豚の口ともいう。

猪口才な

なまいきなこと。こりこう。さしでがましい。

猪口（ちょこ・ちょく）

陶磁器で形が小さく上は開き、下はすぼんだ器。

イノベーション？

このような年にしたい？

健康長寿社会実現に向けて

日本は世界のどの国も経験したことの無い超高齢化社会を目前にしています。

ちなみに、現在100歳以上の人口は6万人といわれていますが、2048年には、60万人超になると予測されています。

多くの方が長生きすることができることはとても魅力的なことですが、やはり困ったことも起きてしまいます。それは、「平均寿命」と「健康寿命」の差です。

この「健康寿命」とは、介護などを必要とせず、健康でいられる期間とされていますが、この平均寿命と健康寿命との差は、男性で約9年、女性で約12年とあると言われています。この差の期間は、誰かの介護やサポートを必要とする期間になりますから、様々な問題が生まれてきます。また、平均寿命が伸びたことにより、医療や介護を必要とする人が増えたため、医療費等の社会保障費が増えていることも社会問題の一つになっています。

健康に長生きすることへ、「今からの心がけ」が、健康長寿社会を実現するために益々大切になっていきます。

～カラダにちょっといいこと、はじめてみませんか？（その生活習慣を変えてみませんか？）～

運動不足、不健康な食生活、喫煙、過度な飲酒この4つの生活習慣が4大非感染性疾患の原因となり、世界の死亡原因の約60%になるそうです。

こうした中で、「食生活」「運動」「睡眠」などの健康に必要な知識・ノウハウの習得と、一人ひとりがよ

り健康的な生活を送れるように「行動」を変えていく。「健康長寿社会」実現の第一歩だと考えます。

PS. 身につけるデバイス「ウェアラブルデバイス」が様々なメディアによって取り上げられ注目の対象になっています。身につけて改めて感じることで、体に関するデータも容易に収集可能ですし、データが見える化されることによって、睡眠の質も運動の量等も変化してきました。

「ウェアラブルデバイス」はますます普及するでしょうし、新たな可能性も感じます。

会報委員 作田 尋

例会報告

第24回例会
平成31年1月18日(金)

- 12時30分 開会点鐘
- ・司会 坂本広行会長
- ・ロータリーソング
(それこそロータリー)
- ・会長報告 坂本広行会長
- ・皆出席バッチ 吉田育弘君 (42年)・佐々木憲明君 (3年)
- ・入会祝 工藤博司・岩野法光・藤田治彦君
- ・誕生祝 工藤博司・岩野法光・川村 登・飯塚 肇・掛上智章・諏訪泰幸君
- ・結婚祝 吉田明弘・海野 尚君
- ・幹事報告 藤村吉隆幹事
- ・終了後定例理事会開催
- ・委員会報告

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡東R.C.=
1月21日(月)は通常夜例会
18:30~ 鹿角屋 会場変更
- 盛岡西R.C.=

2月7日(休)は年祝い会のため夜に時間変更

【ニコニコBOX】

- ◆工藤幸一君…前回予告しました干支手ぬぐい用意してあります。例会後にお声がけ下さい。
私の娘の作品ですが、メインは手ぬぐいではなくイラスト作成です。なお、お仕事募集中です。
- ◆大久保嘉二君…錦木の活躍、稀勢の里引退もあり、今週の「おぼんですいわて」は好調です。来週は月曜日から日曜日、千秋楽まで盛岡放送局で8Kの大相撲放送を公開しています。
実況なしのナマ音で国技館の雰囲気をお楽しみください。
- ◆福田荘介君…喜寿のお祝いありがとうございます。
昨年の秋に75才の後期高齢者になり、先週年明けには77才の喜寿のお祝いを頂きました。
何となく76才の年を飛び越えたような不思議な感じです。
- ◆工藤博司君…改めて新年のごあいさつ申し上げます。村井研一郎会

員はじめ慶寿のお祝いの方々は誠にありがとうございます。

伝統を誇る当クラブは80周年を迎え、お陰様で私も、今年80才になりました。大変光栄と存じます。記念事業・地区大会には、少しでもお役に立たせて頂きたいと願っております。

田中ガバナー・坂本会長はじめ会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

日頃のご無沙汰もお詫びして。

- ◆近藤 駿君…正月も明けて今年も頑張ろうという気持ちがいっぱいの時にちょっとショックな事がありました。2日前の新聞で、桜山神社の広告に昭和22年生まれば八方塞の年回りが出ていました。確か去年、飯塚前会長の挨拶の時に、今年は八方塞ですが八方から守られて良い年と考えます。と言ったのを覚えていました。
昨年は飯塚会員と同年の私にとってはまったくひどい年でした。その年が明けたのにまた、八方塞とは何てことだ!!
坂本会長何とかして下さい。

出席報告

会員数/77名

出席数/46名

出席率/61.33%

前々回/休会



プログラムのお知らせ

- ・1月25日(金) 新入会員卓話 菅原浩幸会員「改めて自己紹介」
- ・2月1日(金) 新入会員卓話 田村賢一会員
- 8日(金) 第3回クラブアッセンブリー
- 15日(金) 会員卓話 佐藤重昭会員
- 23日(土) 創立80周年記念式典
(22日例会変更)
- ・3月1日(金) 卓話

●本号編集担当/作田 尋